

建築ITコミュニケーションデザイン論 第8回

建築とコンピュータ

2009-07-01 (水)

本江正茂

建築とコンピュータ

「コンピュータの中の建築」

「建築」と「建物」“architecture” and “building”

「建築」＝建てられたモノ かつ 建てるというコト

建てるというコト

建築家は、つくりかたをつくる

ミース・ファン・デル・ローエ「われわれは秩序を持たねばならない。秩序とは、それぞれのものをそれに適した所に置き、それぞれのものに、その性質に応じた役目を与えることである」

ル・コルビュジエ「建築する、それは秩序づけることなのである。何を？すなわち諸々の機能ならびに物体を秩序づけること」

「建築」＝世界を秩序だてること

「機械という世界モデル

ル・コルビュジエ「住宅は住むための機械である」

「機械」モデルの失効

機械から建築へ

機械＝普遍性＋大量生産性

建築＝個別性＋一回性

「建築」＝世界モデルとしての「建築」

計算する機械

計算するだけの機械→目的のない機械→理解しがたい機械

コンピュータを理解するためのモデル＝人格モデル or 空間モデル

「環境」としてのコンピュータ

「建築」と「コンピュータ」

「環境」と「世界」

「世界」＝「環境」の可能性の全体

世界の可塑性への信憑がデザイン行為の基礎

アーキテクチャ

Lawrence Lessig 『CODE』

人間をコントロールする4つの手段

法律、市場、規範、アーキテクチャ

アーキテクチャ＝環境管理型権力

内面化を必要としない

規制の存在自体に気付かない

参考文献

本江正茂「コンピュータの中の「建築」」2001, <http://www.myu.ac.jp/~motoe/text/va2.html>

坂村健、鈴木博之編『バーチャル・アーキテクチャー：建築における可能と不可能の差』東京大学総合研究博物館,1997

レイナー・バンナム『第一機械時代の理論とデザイン』石原達二、増成隆士訳、鹿島出版会、1976

木田元『ハイデガーの思想』岩波新書、No.268、1993

ローレンス・レッシグ『CODE』山形浩生、柏木亮二訳、翔泳社、2001

濱野智史『アーキテクチャの生態系』NTT出版、2008